

研究主題 英語ノートと関連させ，他教科等での学びを活用した外国語活動  
指導計画集の作成

下妻市立蚕飼小学校（平成21年度） 福田 恭子

研究の概要及び索引語

外国語活動において，児童のコミュニケーション能力の素地を養うためには積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成が必要である。そのためには，児童の興味・関心，知的好奇心を刺激する授業を行うことが大切である。そこで本研究では，英語ノートと関連させ，他教科等での学びを活用した外国語活動指導計画集を作成した。

索引語： 外国語活動，他教科等での学びを活用，英語ノート，指導計画集

1 主題設定の理由

(1) 研究の指針

小学校学習指導要領（平成20年3月告示）第4章，外国語活動の目標には「外国語を通じて，言語や文化について体験的に理解を深め，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り，外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら，コミュニケーション能力の素地を養う」とある。また，小学校学習指導要領解説外国語活動編（平成20年8月）（以下，解説と表す）第2章の3指導計画の作成と内容の取り扱い(4)には，「指導内容や活動については，児童の興味・関心にあったものとし，国語科，音楽科，図画工作科などの他教科等で児童が学習したことを活用するなどの工夫により，指導の効果を高めるようにすること。」とある。さらに，小学校外国語活動研修ガイドブック（平成20年6月）では，「小学校外国語活動の授業構築には，他教科等との関連を考慮した横断的カリキュラムをもとにするのがよいと考えられる。これは，児童が既に持っている知識や体験，他教科等で学んだ知識や国際理解面の知識を題材として，より知的な内容や教材を準備することで，高学年の児童でも取り組みたいと思えるような活動が可能になるからである。」と述べられている。

これらのことから，外国語活動において取り扱う題材については，児童が思わず「話したい」「聞きたい」と興味・関心を示すものを，児童が共通に学習している他教科等での学びを活用したものと関連させることが有効であると考えられる。

(2) 児童の実態

本校は，全校児童\*名の小規模校であり，第5・6学年計\*名は複式学級である。本校では\*年間，総合的な学習の時間の国際理解の観点から，毎週1時間の英語活動を行ってきた。授業は外国語指導助手(ALT)とのチーム・ティーチングを基本とし，英語の音声面の特徴やおもしろさ，異文化理解に

重点を置いて指導してきた。児童は英語活動を好み、楽しく授業に参加してきた。それは、表1の児童の意識調査1(1)の結果からも分かる。しかし高学年になると、自分から進んで発言したり、活動したりすることをためらう傾向が見られるようになった。2(1)の結果からも、コミュニケーション活動は行っているが積極的ではないと回答した児童が\*\*近くもいる。一方、2(2)から今までに行った他教科等での学びを活用した単元(印)に、約\*割の児童が積極的に取り組めたと答えている。そこで、児童が共通の体験としてもつ他教科等で学んだ内容を活用した題材を、指導計画の中で計画的、系統的に扱うことで、高学年児童の興味・関心や知的好奇心を刺激した外国語活動が可能になるのではないかと考える。

表1 児童の意識調査

表は掲載せず

### (3) 研究の方向性

本研究では、児童が他教科等で得た知識や体験を活用した外国語活動指導計画集を作成し、その一部を授業実践する。本校は、複式学級であるため、英語ノート1と2を活用し、第5・6学年両方が興味・関心をもって取り組めるような指導計画集の作成に留意する。授業では、指導計画集をもとに、ゲームや絵本の読み聞かせなどの活動の中に、国語科、社会科、家庭科、音楽科等、他教科等で児童が学んだ内容を積極的に取り入れていき、指導の効果を高めていきたい。

## 2 研究のねらい

英語ノートと関連させ、他教科等での学びを活用した外国語活動指導計画集を作成する。

## 3 研究の内容

### (1) 基本的な考え方

#### ア 外国語活動について

小学校における外国語活動の目標はコミュニケーション能力の素地を養うことである。解説によると、この「コミュニケーション能力の素地」とは、小学校段階で外国語を通して養われる、言語や文化に対する体験的な理解、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみを指したものである。また、「異なる言語や文化を理解したり、他者と積極的にコミュニケーションを図ったりすることは、これからの社会に生きる子どもたちにとって重要なことである。～

中略～スキル向上のみを目標とした指導を行うことは、本来の外国語活動の目標とは合致しない。」とある。これらのことから、他教科等での学びを活用するに当たり、外国語活動の趣旨に沿ったものとなるよう心がける。

#### イ 他教科等での学びを活用することについて

大阪樟蔭女子大学教授の菅正隆氏（前文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）は、『小学校英語活動ガイドブック』（平成20年11月）の中で、「各教科にはそれぞれ特徴があり、それを英語活動とリンクさせることで、様々な副産物を期待することができる。」と述べている。また、文教大学教授の嶋野道弘氏は、他教科との関連について「人とのかわりにおいて、自分の思いや願いを生かし、主体的に活動することができるようにするために、また、知的な気付きという観点からも、他教科との関連を図った指導を工夫していく必要がある。」と述べている。これらのことから、児童が他教科等で得た知識や体験の中から、基本的な内容を取り上げ、外国語活動と積極的に関連させていきたい。他教科等での学びを活用する活動例として資料1のようなものを考える。

資料1 他教科等での学びを活用する外国語活動例

<p>国語科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本語と異なる音声(動物の鳴き声等)や基本的な表現に慣れ親しむ活動</li> <li>外来語の語源や漢字の成り立ちに気付く活動</li> <li>ALTや友達の発表(英語)を聞き,感想(日本語)を書く活動</li> </ul>	<p>社会科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図記号や八方位を利用した道案内の活動</li> <li>茨城や日本の特産物を扱った活動</li> <li>歴史上の人物を取り上げた活動</li> </ul>
<p>音楽科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手でリズム打ち,チャンツを楽しむ活動</li> <li>既習の曲から連想される英語を考える活動</li> <li>リコーダーを使った動物当てクイズ</li> <li>替え歌を作る創作活動</li> </ul>	<p>図画工作科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分で作った作品を紹介し,鑑賞し合う活動(ショーアンドテル)</li> <li>ALTの英語を聞いて,簡単な絵に描く活動</li> <li>外国の方に紹介したい料理を考え,絵で描き伝え合う活動</li> </ul>
<p>家庭科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>料理の食材を考えて行う買い物活動</li> <li>栄養素を考えて作るランチメニュー活動等</li> </ul>	<p>道徳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳の時間での指導の成果を生かす活動</li> <li>外国語活動の中で,道徳的な心情,判断力,実践意欲と態度などの道徳性を養う活動(友達との協力,思いやり,国際理解等)</li> </ul>

#### ウ 英語ノートとの関連について

英語ノートとは、文部科学省が作成した外国語活動のための補助教材である。国際理解教育関連の内容やコミュニケーション能力育成のための活動が中心に構成されている。自己を知ることや相手を知ること、世界に目を向けて考えること等の内容がバランスよく配列されており、児童にとって身近な家庭や地域学校生活等に関する話題が豊富に組み込まれている。これらのことから、指導計画集作成に当たり、英語ノートを参考にし、作成する単元と英語ノートと関連するレッスンやページを、指導計画の中に計画的・系統的に位置付け、明記したいと考える。

(2) 主題に迫るために

ア 指導計画集について

指導計画集として「年間指導計画」と「単元計画」（9単元分）、「具体的な活動例」を作成する。作成の視点は、英語ノートと関連させ、他教科等での学びを活用することにある。本校は、第5・6学年複式学級のため、英語ノート1と2を活用し、両方の学年が興味・関心をもって取り組めるように工夫する。図1は指導計画集作成の手順である。

両方の学年が、興味・関心をもって取り組めるようにするためには、各教科等における基本的な内容を選んだり、一人一人の児童の個性や得意な教科等を、互いに生かすことのできる内容を工夫したり、単元内で児童が自分の思いや願いを表現できる場を設けたりすることなどに留意していく。

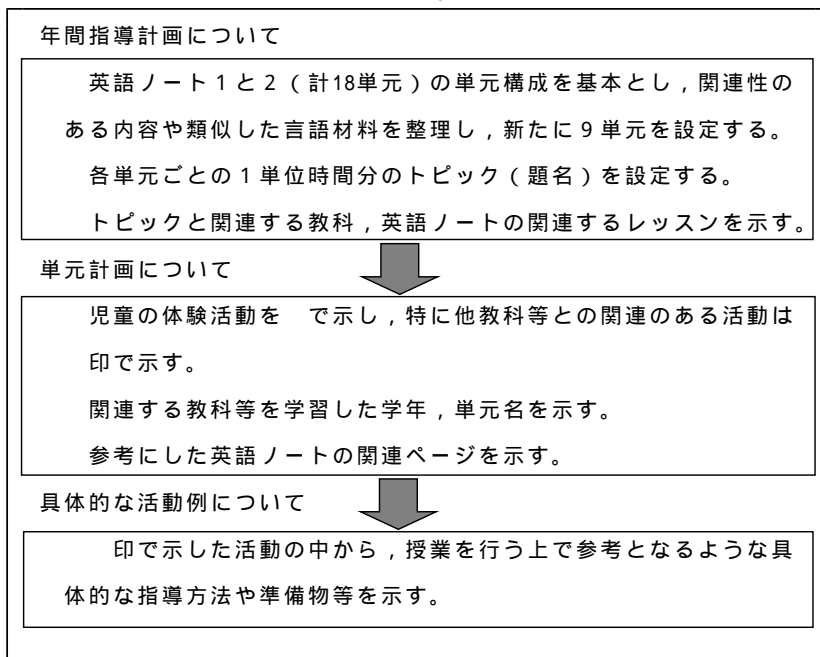


図1 指導計画集作成の手順

イ 評価について

指導計画集作成に当たり、外国語活動の評価について、表2のように定める。3つの評価の観点は、外国語活動の目標に由来している。すなわち、A「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」は積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度から、B「コミュニケーション能力」は外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみから、C「言語や文化についての関心・理解・態度」は言語や文化に対する体験的な理解からである。評価規準については外国語活動の趣旨に沿うように、「～できる」等のスキル向上を目指す表現を避け、各観点到それぞれ2つずつ設定する。指導計画中には、A、Cのように記載する。

表2 外国語活動の評価と評価規準

評価の観点	評価規準
A コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ALTや担任、友達と進んでコミュニケーションを図ろうとしている。相手の目を見て、コミュニケーションを図っている。
B コミュニケーション能力	相手が伝えようとすることを理解している。自分の言いたいことや気持ちを、英語やジェスチャー等を使用し、相手に伝えている。
C 言語や文化についての関心・理解・態度	外国の人や言語に興味をもっている。日本や外国の言語や文化のよさや違いに気付き、自ら発信している。

(下妻市立蚕飼小学校作成)

(3) 研究の実際

ア 年間指導計画の作成

関連する教科等と英語ノートとの関連を入れた年間指導計画（資料2）を作成した。

資料2 外国語活動年間指導計画

レッスン	単元名 【予定時間数】	各時間の比 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺	関連する教科等	英語ノートとの関連	主な評価	主な使用表現
1	世界のこんにちは & A B C 【4時間】	世界のこんにちは アルファベットをしよう 名刺を交換しよう！ 町の中のアルファベット	国語・社会 図工・道徳	英1-L1 英1-L2 英2-L1 英2-L2	A C B B	Hello. My name is ~ . How are you? A~Z, a~z 等
2	How many? いくつあるの 【3時間】	1, 2, 3! 輪投げ大会だ！ 何本？何画？何拍子？	算数・理科 国語・道徳 音楽	英1-L3 英2-L2	A B B	How many? 1~100等
3	もっと知りたいな (自己・他者紹介 誕生日等) 【4時間】	好き？嫌い？ できる？できない？ 誕生日はいつ？ 人物紹介ジョーアンドール	算数  国語 道徳	英1-L4 英1-L5 英2-L3 英2-L4	A A A B	I (don't) like ~ . Do you like ~ ? I can (can't) ~ . Can you ~ ?
4	どこへ行くの？ (道案内と地図) 【3時間】	建物いろいろ 蚕飼小・下妻市の様子 学校探検へ行こう	生活 社会	英2-L5	A B B	Where is ~ ? Go straight. Stop. Turn right/left.
5	スペシャル料理を 紹介しよう！ 【6時間】  <b>授業実践 した単元</b>	外来語って何？ どこから来たの？ 欲しいものは何ですか？ 特別料理を考えよう！ 特別料理を紹介しよう！ 特別料理について話そう！	国語 音楽 家庭 社会 図工	英1-L6 英1-L9 英2-L6	C C A A B C	What do you want? (What would you like?) (May I help you?) ~, please. (I want to go to) ~ .
6	クイズ大会をしよう (漢字クイズ等) 【4時間】	これ な~に？ この漢字って何？ クイズを作成しよう クイズ大会をしよう	国語	英1-L7	A C C B	What's this? Can you read this? That's right.
7	わたしとぼくの一 日 (時間・時差) 【4時間】	狼さん、今、何時？ 世界の小学校 オリジナル時間割作り 誰の一日？	算数 理科 社会	英1-L8 英2-L7	B B C A	What time is it? What time do you ~ ? Japanese, math, P.E. . ...
8	紙芝居を作ろう！ (4こま漫画作り) 【4時間】	ああ、懐かしい！ 紙芝居を作ろう 紙芝居を作ろう 作品を発表しよう	国語  図工	英2-L8	B A A C	This is my ~ . (家族、友達、ペット等). Wait. How nice! 等
9	未来を考えよう！ (将来の夢・ 国際集会) 【3時間】	この人誰かな？ 将来の夢は？ 国際集会を楽しもう	国語 音楽 道徳	英2-L9	C B C	What do you want to be? (I want to be) a ~ . (職業名) Where are you from?

## イ 単元計画の作成

資料3は授業実践を行ったLesson5の単元計画である。他教科等との関連のある活動に 印を付し、別枠で関連教科等と英語ノート関連ページを記載した。

資料3 単元計画

単元の指導と評価の計画 (Lesson 5 6時間扱い)				
単元名: 「ALTの先生にSpecial (自慢の特別料理) を紹介しよう！」 英語ノートとの関連: 英語ノート1 Lesson 6, Lesson 9, 英語ノート2 Lesson 6 本単元の目標: 友達と協力しALTの先生に紹介するspecial料理を考え紹介する活動を楽しむ				
時	「今日のTopic」 目標 児童の体験活動 (は他教科等との関連のある活動)	他教科等との 関連 英語ノート関連ページ	評価 規準	主な言語材料
1	「外来語って何？」  外来語とその由来の語との発音の違いに気付く。  友達探しインタビュー 外来語集め 外来語を使ったAre You Hungry?の替え歌作り (食べ物・動物・スポーツ・国旗等)	5年国語 「和語・漢語・外来語」  音楽 「創作活動」  英語ノート 1 (P.36,37)	A   C	banana, cabbage, lemon . . . . 果物, スポ-ツ等の外来語 (英語ノート1 P.36より)
2	「どこから来たの？」  食べ物や動物, スポーツ, 建造物等がどこの地域や国を代表するのかわを確認し, 言葉に慣れ親しむ。  国旗クイズ (色と形) 出身クイズ サークルインタビューゲーム (行きたいところ)	4年社会 「わたしたちの県」 5年社会 「わたしたちの国土」 国語 「伝え合う活動」 英語ノート 1 (P.38) 2 (P.37,42)	B  C	green, yellow, blue・ 国旗クイズ (英語ノート2 P.37より)  This is ~ . From where? It's from Shimotsuma. Italy.  Where do you want to go? I want to go to ~ .
3	「欲しいものは何ですか？」  自分の目的のものを買う活動を通して, 店員と客の基本的な会話に慣れ親しむ。  dialogue加々 (店員と客) 条件買い物ゲーム (メニュー指定, 栄養指定, 地域指定等)	5年家庭 「栄養素」 4・5社会 「わたしたちの県」 「わたしたちの国土」  英語ノート 1 (P.39,40,41)	A  B	What do you want? (数字) ~, please. How much? Discount, please. Here you are. Thank you. You're welcome.
4	「特別料理を考えよう! ~ ALTの先生に紹介したいspecial (自慢の特別料理) を考えよう! ~」  自分たちのアピールしたいポイントがよく伝わるような料理を, 産地 (社会), 栄養面 (家庭科), 彩り (図工) 等から考え, 絵に描く。 テーマを決めて考えようタイム	5年家庭 「栄養素」 4・5社会 「わたしたちの県」 「わたしたちの国土」 図工  英語ノート 1 (P.60)	A  C	This is ~ . Here you are. Thank you.  等
5	「特別料理を紹介しよう! ~ ALTの先生にspecialを紹介しよう! ~」  自分たちで考えた自慢の特別料理を協力しながらDan先生に紹介する。 食材ゲットゲーム アピールしよう	道徳 国語 「伝え合う活動」 音楽  英語ノート 1 (P.61) 2 (P.41)	A  B	This is our special. The name is ~ . This ~ is from ~ . It's ~ . Please try. Thank you.
6	「特別料理について話そう! ~ specialについて話そう! ~」 他のグループの料理について意見をまとめ, 気に入った料理について理由も加えて伝え合う。 (英語・日本語・ジェスチャーで)  伝え合おう スーパークイズタイム 絵本の読み聞かせ	国語 「伝え合う活動」  音楽 「リコーダー」  英語ノート 1 (P.61)	A  C	I like this special. Because it has ~ . How about you? I prefer ~ .

ウ 具体的な活動例の作成

資料4は、2時間目に行った「出身クイズ」の具体的な活動例である。実際の授業を行う上で参考となるような具体的な指導方法や準備物等を示した。さらに、イラストや教師が使用する英文例等も掲載した。

資料4 具体的な活動例

**Lesson 5** 具体的な活動例（他教科等での学びを活用した活動）  
< 2時間目から >

**出身クイズ（社会）**  
 各グループに、色別のおはじきかマグネットを10個程度渡しておく。  
 黒板に、拡大地図を貼る。  
 その土地や国を代表するような食べ物や動物、建造物等が分かるようなヒントを出す。児童はその出身地の名称と場所を考える。  
 （別紙のワークシート使用）  
 交代で地図にマグネットを付けにくる。  
 （産地例）

<主な準備物>

- ・拡大地図3種類  
 （茨城県, 日本, 世界）
- ・色別の複数のおはじきかマグネット





---

**担任やALTが出すヒントやデモンストレーション例**

<p>This country is famous for pizza, spaghetti.            ~先生, do you like pizza?            Oh, soccer is also famous.            ~さん, do you like soccer?            Where is it? (答え: イタリア)</p>	
<p>This is the center of Ibaraki.            ~先生, do you like natto?            Oh, no! I hate natto.            I love it. I eat it every morning. (答え: 水戸)</p>	<p>~先生,            Which do you like, fish or meat?            Fish! (魚のジェスチャー)            I like fishing.            (釣りのジェスチャー)            大洗? No...            This fish is from 四国.            高知? Yes. Where is 高知?</p> 

エ 授業の様子から (Lesson 5)

(ア) 1時間目「外来語って何?」(関連: 国語・音楽)

英語ノート掲載の外来語に触れ、絵カード並べ替えゲームをした後、各自、ワークシートに身の回りの外来語を思いつくままに書き出した。(資料5) 第5学年国語「和語・漢語・外来語」の学習を行った直後であったので、第5学年の児童は

資料5 児童が集めた外来語

キャップ, ペン, チャック, リモコン  
 フルト, ピアノ, ネクタイ, ヘルム  
 リコーダー, フルーツ, スプーン, フォーク  
 ナイフ, オレンジ, 三角形...



(グループで相談)

「あっ、カタカナの言葉だ」とすぐに反応があった。その後、Are You Hungry?という既習の歌の替え歌を作るために、一人一人集めた外来語を第6学年の児童を中心にグループごとに整理した。資料6は、楽器編の歌詞である。スポーツ編や動物編などもあった。児童は外来語ともとの語との音の違いに気付き、ALTの音声を真似しようとしていた。

資料6 替え歌の歌詞より

Do you like music?(児童・担任)  
 Yes, I do. How about you?(ALT)  
 I like music.(児童・担任)  
 Let's play some.(一緒に)  
 「ピアノ, リコーダー, トランペット,  
 オルガン, カスタネット, ハイオリン…」  
 (楽器で整理された外来語)

(イ) 2時間目「どこから来たの?」(関連:社会)

英語ノートで各国の代表的な食べ物等に触れた後、担任やALTのヒントからその出身地を考え、地図(茨城・日本・世界)上にマグネットを置く「出身クイズ」を行った。児童は第4学年や第5学年の社会で茨城県や日本の産地の学習を行っている。ある児童は「devil's tongue(蒟蒻)は夫子だったよね!」と、グループの友達に確認しながら、注意深く英語のヒントに耳を傾けていた。

(「出身クイズは」P.7に掲載の「具体的な活動例」参照)

(ウ) 3時間目「欲しいものは何ですか?」  
 (関連:家庭・社会)

資料7 ALTと会話する児童

グループで協力して買い物をしてくる「条件買い物ゲーム」を行った。その条件とは、家庭科で学習した栄養素を基にバランスよく食材を選んだり、あるメニューの食材や産地を考えて買う等である。児童は、ALTや友達とアイコンタクトをしながら、自分の買いたい物を、知っている英語やジェスチャーを使い、相手に伝えていた。(資料7)

写真は掲載せず

(I) 4時間目「ALTの先生に紹介したいspecial(自慢の料理)を考えよう!」  
 (関連:家庭・社会・図画工作)

ALTの先生に食べてもらいたいスペシャルメニューを考える活動を行った。児童はALTの先生の出身国アメリカから連想するメニューを考えたり、日本食のよさを知らせる和食メニューを考えたりした。その後、自分たちのメニューのアピールポイントが相手に伝わるように丁寧に絵を描いた。(資料8)

資料8 児童が考えたメニューと予想される他教科等との関連

- ・旬の日本食スペシャル(5年社会科「日本各地の産物」)
- ・ALTの先生の故郷メニュー(英語ノート2からの国旗クイズ)
- ・昔なつかしの日本食スペシャル(4年社会科「昔の暮らし」)
- ・カラフルバランスメニュー(5年家庭科「栄養素」)



写真は掲載せず





(オ) 5 時間目「ALTの先生にspecialを紹介しよう！」(関連:国語)

グループごとに、料理のよさを紹介するための食材を買ってくる「食材ゲットゲーム」をした後、「アピールしよう！」(資料9)で特別料理の紹介を行った。児童は自分たちの思いをどのようにすれば効果的にALTに伝えることができるのか、協力しながら進めていた。国語で学習した「発表の仕方」を思い出してアイコンタクトに気を付けるグループや、手に入れてきた食材の産地を、掲示してある地図で紹介しながら発表するグループもあった。

資料9 「アピールしよう！」でALTに自分たちの考えを述べる児童の様子

写真は掲載せず	< 児童が話した英文例 > Hello. This is our special, hometown menu. This bread(is)from America. This sausage(is from) America. All (from) America.(it's) delicious. Thank you.
	< ALTの先生からの質問例 > Thank you. It looks delicious. Mr. * *, do you like sausage?

(カ) 6 時間目「specialについて話そう！」(関連:国語)

自分の気に入ったメニューについて、理由も加えて話す「伝え合おう！」の活動を行った。「栄養バランスがいいと思います。」や「高知県産のかつおがあっけおいしそうでした。」等、他教科等で学習したことを活用し、工夫した点を指摘し、認め合う意見が出された。ALTや担任は、英語と日本語を交えて児童に賞賛の言葉をかけたり、質問をしたりして話し合いを支援した。

(キ) 6 時間目 絵本の読み聞かせとスーパークイズ(関連:国語・音楽)

外国語活動の最後は、その単元に関連した絵本の読み聞かせを行った。今回は、児童が音読集会で日本語で読んだ経験のある本を選んだ。児童はそのストーリーを既に知っており、絵の助けもあり、ALTの英語にうなずいたり笑ったりしながら聞き入っていた。また、スーパークイズタイムでは、英語ノートにある動物の隠し絵を利用し、リコーダーや鍵盤楽器で、「ぞうさん」や「うさぎ」を児童と担任が演奏し、みんなで考えられるように工夫した。

オ 授業後の調査から

(ア) 意識調査から

グラフは掲載せず

図2 児童の意識調査の比較 (前:平成\*\*\*, 後:平成\*.\*.\*実施 第\*学年\*人)

図2の意識調査をみると、外国語活動の授業の好き嫌いについては、授業前後で大きな変化はみられなかった。しかし、積極的に相手とかわることにについては、ほとんどの児童が自分の活動を前向きにとらえていた。

#### (1) 児童の感想から

#### 資料10 授業後の児童の感想（抜粋）

授業後の児童の感想（資料10）には、他教科等での学びを活用した活動を例に挙げ「楽しかった」等と記述する内容が

- ・外来語がたくさん見つかりました。歌にするのも楽しかったです。
- ・替え歌作りでいろんな国の名前を入れられたので楽しかったです。
- ・自分たちで考えたメニューを上手に描けました。発表は緊張したけど、頑張って言えました。ダン先生に通じてうれしかったです。
- ・社会の時にやった勉強がもう一度できてよかったです。以外と簡単でした。
- ・ふつうの買い物より、考えてやる買い物の方がずっとおもしろかったです。
- ・英語ノートをやって、友達とできて楽しかったです。またやりたいです。
- ・5年生にいろいろ教えてあげることができました。

目立った。また、英語ノートに触れた記述も幾つか見られた。

(7)、(1) のことから、外国語活動において、英語ノートと関連させ、他教科等での学びを活用した授業を行うことは、児童の興味・関心や知的好奇心を刺激し、積極的な取り組みを促すことに役立つと考えられる。

#### 4 研究のまとめ

本研究では、英語ノートと関連させ、他教科等での学びを活用した外国語活動指導計画集を、次のような視点で作成した。

- (1) 「年間指導計画」では、英語ノート1と2の単元構成を参考にし、第5・6学年複式学級という本校の実態に合わせ、両方の学年が興味・関心をもって取り組めるような新単元を設定した。また、年間35時間分のトピックを設定し、それと関連させる教科等を示した。併せて、外国語活動の目標に沿った指導ができるように、主な評価規準を示した。
- (2) 「単元計画」では、1単位時間の目標と活動の流れを示し、他教科等との関連のある活動に、印を付した。他教科等での学びを活用することで、児童の知的好奇心を刺激し、共通の体験として学んだ話題を生かして相手とより積極的にかかわれるように工夫した。また、関連する教科等を学習した学年、単元名と英語ノートページを記載した。さらに、各単元内で、児童が自分の思いや願いを表現できる場を設けた。
- (3) 「具体的な活動例」では、他教科等と関連した印の活動の中から、授業を行う上で参考となる指導方法や準備物等を示した。また、活動をイメージしやすいように、図やイラストを加え、ALT とのデモンストレーション等に役立つ英文例を掲載した。

#### 5 今後の課題

- (1) 本研究で作成した指導計画集をもとに、他の単元でも授業実践を行い、一人一人の児童や本校の実態に、より合った指導計画集の工夫、改善に努める。
- (2) 外国語活動の目標を押さえながら、中学校英語科への橋渡しとしての小学校外国語活動の在り方を模索し、研究を深めていく。

#### 主な引用文献

文部科学省「小学校学習指導要領解説外国語活動編」平成20年8月

文部科学省「小学校外国語活動研修ガイドブック」平成20年6月